

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 14 日 (2014.8.14)

【公表番号】特表 2013-542093 (P2013-542093A)

【公表日】平成 25 年 11 月 21 日 (2013.11.21)

【年通号数】公開・登録公報 2013-063

【出願番号】特願 2013-525944 (P2013-525944)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 0 5 D 5/04 (2006.01)

B 0 5 D 1/26 (2006.01)

【 F I 】

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 0 5 D 5/04

B 0 5 D 1/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 27 日 (2014.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

透明な基材に少なくとも 1 つの下地層コーティングミックスを塗布して透明な基材上に配置される少なくとも 1 つの下地層を形成し、前記コーティングミックスはゼラチン及び少なくとも 1 つのホウ酸塩又はホウ酸誘導体を含むことと、

少なくとも 1 つの下地層に少なくとも 1 つの受像層コーティングミックスを塗布して少なくとも 1 つの下地層上に配置される少なくとも 1 つの受像層を形成し、前記受像コーティング層は少なくとも 1 つの水溶性又は水分散性のポリマと少なくとも 1 種の無機粒子と少なくとも 1 つの界面活性剤を含むことと、

衝突風乾を用いて少なくとも 1 つの受像層を乾燥させ、透明なインクジェット記録フィルムを形成することと、

を含み、

下地層コーティングミックスにおけるゼラチンと少なくとも 1 つのホウ酸塩又はホウ酸誘導体の比は、重量で約 20 : 80 ~ 約 1 : 1 の間であり、さらに、下地層コーティングミックスは少なくとも約 4 重量 % の固形物を含み、さらに、少なくとも 1 種の無機粒子と少なくとも 1 つの水溶性又は水分散性のポリマの比は重量で約 90 : 10 ~ 約 95 : 5 の間である方法。

【請求項 2】

下地層コーティングミックスにおけるゼラチンと少なくとも 1 つのホウ酸塩又はホウ酸誘導体の比が、重量で約 0.45 : 1 である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

少なくとも 1 つの下地層コーティングミックスが少なくとも約 9.2 重量 % の固形物を

含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

少なくとも 1 つのホウ酸塩又はホウ酸誘導体がホウ砂を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

少なくとも 1 つの水溶性又は水分散性のポリマがポリ（ビニルアルコール）を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

少なくとも 1 種の無機粒子がベーマイトアルミナを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

少なくとも 1 種の無機粒子と少なくとも 1 つの水溶性ポリマの比が重量で約 92 : 8 である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

受像層コーティングミックスが少なくとも約 26 重量 % の固形物を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

受像層が、少なくとも約 40 g / m² のコーティング重量を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

請求項 1 の方法に従って製造される透明なインクジェット記録フィルム。